

察法が出来ず当時ノ頭ノ古サヲ頑固サヲ現時ノ勞働問題ヲ解決ガツキマスカ
時ハ今昭和二年ノ神代デス

製材協會ノ奴ラハカクシテマデ勞働者ノ自由ヲ縛リ、抑立意振トナシテ搾り取ラナケ
レバナラナイ程ニマデ彼ラノ頭ガ化石化シ、コソクリート化シテ居ルトススレバマ
ソト、強イ同情罷業ノ地震ニアツテ見度イト云フノデセウ、

岡田、井忠、丸一、和田、角松、大正、之レガ天下ノ大問題テアル勞働争議ノ糾
策ヲ牛耳ラントスル其オコガマシサ

殊ニ濁由輩ノ恫恠無恥無恥態樣ニ到ワテハ天下ノ珍品デス、協會ノ一般會員ガ
信ト併バセテ副會長ノ要位ニアゲタコトハ蓋ニ近木ノ大傑作ト存デマス

私達ハ敢テ云フ
社會進化ノ合法則性ニ支配サレテ今ヤ当ホズギル程、當恚扱ヒサレル勞働組合加入
ノ既得権ノ放棄ハ個人ノ上カラ又將又勞働階級ノ上カラモ忍ブベカラサル侮辱テア
リ評正デアリ暴虐ナル支配態ノ有動ト断シテ全無産階級ヘノ恚援ヲ求メテ最後ノ一
人トナル迄決定的ナ闘争ヲ期スルコトヲ声明シ彼等頑迷ナル協會幹部ノ徹底的ナル
糾弾ニ多大ナル高援ヲ希望シテ諸友ノ御批判ヲ仰グモノデス、

尚本朝ノ一ニ新聞ニ當テ解決ノ誤報アリマシタ全然事實無根デス、更ニ本夕藤江終
又象衆館ニテ亦三回ノ争議批判演説會ヲ開催シ、其、席上テ詳細ヲ發表シマス
續々傍聴ヲ希望シマス

議

萬能製材協會ニ對スル貴協會ノ對策、余リニモ野
蠻漢義道ニシテ頗ル言語ニ絶スル刺ヘ争議團賞初ヨリ

要求ヲ殆ト蹂躪一蹴シタルハヤガテ我等ヘノ意識
的挑戰ト觀ル木場製材工場代表者大會ハ茲ニ再び反省

ヲ求メモレ爾今改ムル所ナクンバ我等同志ハ決然起ツ
テ最後リ決死的共同ノ罷業持久戰ニ入り徹底的ナル抗

争ニ期スル

右決議ス

昭和二年五月二十六日

第二回木場製材工場代表者大會